

粒状路盤工法で Bangladesh の道路整備に貢献！

再生路盤材の活用により環境に優しく道路の骨格強化を目指す

国際協力機構(JICA)は1月20日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社丸利根アペックス(東京都三鷹市、門田康一代表取締役)が提案する「再生路盤材を活用した粒状路盤工法の導入にかかる案件化調査」(Bangladesh国)を採択しました。

Bangladeshでは、国土の約2割が浸水する雨季(4月～10月)において、道路の不十分な水捌けや脆弱な路盤による道路の損壊のため、道路が不通になる問題に直面しています。とりわけ、首都ダッカではこうした道路不通による経済的損失が甚大なものとなっています。

提案技術である再生路盤材を活用した粒状路盤工法は、道路の状況に応じた粒度調整により、道路の凸凹の原因となる圧密度や透水性を高水準に均一化する等、洪水等に耐え得る強度の高い路盤築造を可能にする技術です。



【左】再生路盤材(イメージ図)



【右】粒状路盤工法(イメージ図)

本調査では、ダッカ南市都市計画局などをパートナーとし、再生路盤材を活用した粒状路盤工法の現地適合性を調査し、将来的には技術移転や道路舗装等の工事での導入を目指します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2015年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。120件の応募のうち34件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2015年度第2回公示の採択結果について

URL: http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001moz9h-att/investigation_201502_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部 中小企業支援調査課 中津(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp